

2023 明治安田生命 J3 リーグ 第 29 節 vs. 福島ユナイテッド

10/1 (日) 14:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



2023 J3 順位表 第28節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	愛媛	54p	+8	44	36	A●	H△
2	鹿児島	45p	+11	42	31	HO	A●
3	今治	44p	+12	40	28	H△	AO
4	FC大阪	43p	+9	30	21	H●	
5	富山	43p	+3	40	37	HO	
6	沼津	42p	+6	37	31	A△	
7	奈良	40p	+11	33	22	A●	
8	岐阜	40p	+9	33	24	---	---
9	松本	40p	+7	42	35	H△	A△
10	鳥取	40p	+3	42	39	AO	HO
11	八戸	38p	-1	32	33	A●	
12	岩手	36p	0	34	34	H△	
13	YS横浜	36p	-4	38	42	H●	A●
14	長野	36p	-10	35	45	H△	AO
15	福島	35p	-5	27	32	AO	
16	讃岐	35p	-13	20	33	AO	
17	宮崎	32p	-11	21	32	A●	H△
18	琉球	31p	-17	30	47	HO	
19	相模原	28p	-8	30	38	HO	A△
20	北九州	24p	-10	22	32	A△	

次回HomeGame

第30節 vs. アスルクラロ沼津

10/8 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつ一杯

煮込み珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00
※売り切れ次第、終了です
火、水、金、土(祝日除く)営業
TEL. 058-252-1580



today's guest : 福島ユナイテッド

2022 J3 9勝6分11敗 勝ち点33:14位

直近の対決と結果

2023/06/24
J3 - 15 @とうスタ

福島 0-2 岐阜

窪田稜, 村田透馬 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		福島ユナイテッド	
2023/09/24 J3 - 28節@サンアル 松本 0-0 岐阜		2023/09/24 J3 - 28節@とうスタ 福島 1-1 相模原	
2023/09/16 J3 - 27節@ギオンス 相模原 1-1 岐阜		2023/09/16 J3 - 27節@Axis 鳥取 2-2 福島	
2023/09/09 J3 - 26節@長良川 岐阜 0-0 宮崎		2023/09/09 J3 - 26節@とうスタ 福島 0-1 長野	

● 8月は再び負けなしで好調を取り戻したが、9月初戦で敗れてしまったFC岐阜。9/9 (土) 第26節・ホーム宮崎戦は、前半から岐阜が優位に試合を運ぶが、得点生まれず。後半にはさらに決定機が何度かあったものの、これを決めることができずにスコアレスドローになってしまった。続いて9/16 (土) 第27節・アウェイ相模原戦でも、前半から岐阜が流れを掴むが先制点を決められずにいると、CKを決められて先制された。前半A Tに#14生地慶充のゴールで追いつくが、後半に入ってからチャンスを生かせない。その後、GK #1茂木秀のPKストップで追加点は許さなかったものの、決勝点を得ることもできず、1-1の引き分け。そして9/24 (日) 第28節・アウェイ松本戦は、試合の序盤に相手に押し込まれたものの何とか凌いで、概ね互角の展開に。後半は激しい攻防が続いたが、互いに決定機はつくれず0-0。これでFC岐阜は3試合連続引き分け、そして9月期は再び未勝利という非常に残念な結果となってしまった。

さて、この3試合で3引き分け、勝点3しか積み上げられなかったFC岐阜。順位も7位から8位に下がった。直近3試合で首位・愛媛が2勝1敗、2位に躍り出た鹿児島が2勝1分と勝点を伸ばしたため、首位・愛媛との勝点差は14、2位 (= J2昇格圏) 鹿児島との勝点差は5と開いてしまった。ただし、逆説的だが3試合連続で引き分けになっても、まだ昇格圏との勝点差5にとどまれているのが今季のJ3だ。第28節を通過して、いまだに2位・鹿児島との勝点差5以内には10位・鳥取まで、勝点差10以内には16位・讃岐までが入っているという大混戦ぶり。そしてJ3リーグ2023シーズンは、残り10試合。ここから勝利を積み重ねることができれば、まだJ2昇格は現実的な目標であり続けられる。まずは今節この試合で、チーム・クラブ・サポーターが一丸となって、全力で戦い抜いて勝利することが本当に重要だ。さて、今節の対戦相手は福島ユナイテッドFCだ。昨季は、岐阜(12~13年)を最後に現役引退した服部年宏氏が新監督に就任して11位に。今季は2年目の積み上げを目指したが、開幕3連敗を喫するなど、序盤から成績が低迷。第17節終了時点で18位と低迷していたため、服部監督が退任し、依田光正ヘッドコーチが暫定的に指揮を執ることに(その後、正式に監督に就任)。すると、その後11試合で5勝5分1敗・16得点10失点と着実に勝点を積み上げてゆき、現在は勝点35、15位と降格圏を脱出しつつある。依田新監督になってからの1試合平均の勝点は1.8、一方の岐阜は同比較で1.4。つまり岐阜よりも勢いがあると判断せざるを得ないチームだ。福島の方が順位は下位だが、油断できる相手ではない。

福島との対戦は、岐阜の4勝1分2敗・9得点8失点。直近対戦の6/24 (土) 第15節・アウェイ戦では、#8窪田稜、#7村田透馬のゴールで2-0と快勝。しかし、昨年の10/2 (日) 第27節・ホーム戦では、#38藤岡浩介のゴールで先制したものの、追いつかれて1-1。そして、ここで岐阜は昨シーズンのJ2昇格の可能性が消えてしまった。あの苦い経験を払拭するためにも、このホーム戦ではしっかりと勝ち切り、そしてJ2昇格の望みを繋いでいかななくてはならない。

福島の要注意選手には、現在5得点、直近5試合で2得点の大卒ルーキー #39塩浜遼を挙げる。また、チーム最古参8年目となる#40樋口寛規は、岐阜にも在籍(12~13年)した選手だ。最近の出番が少なくなっているが、それでも4得点。一方の岐阜では、大卒で福島に加入した#40川上竜の活躍に注目したい。

9月も終わりになって、ようやく過ごしやすいく気候に少しずつなってきた。一方で、シーズンも3/4を消化して、選手たちの疲労もかなり蓄積されているだろう。だが、ここから残り10試合、全力でラストスパートを懸けられるかどうか、それが最終節での結果に繋がってくるはずだ。そのために今節も、最後まで勝利のため走り続け、戦い続ける岐阜の選手たちを信じて、最後までその背中を後押しする応援を続けよう。しっかりと勝ち切り、歓喜と共に“HYPER CHANT”を選手たちと共にホーム長良川に響かせ、そして10月からの反転攻勢の狼煙をあげよう。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第26節】岐阜 0-0 宮崎

●悔いの残るドローでした。まあ取れる時に取らないとこういう結果になっちゃうよね。特に後半の庄司……。高い位置でボールを奪ってほぼ GK と一対一の状況になっただけにね。あれは決めてほしかった。

でも宮崎のペースだった時間帯も結構あって、ヒヤリとさせられる場面もあったので勝ち点を失わなかったのは良かったのかも。宮崎の監督は松田浩さん。4-4-2でキッチリ守備を構築してくるところは流石としか。

9月唯一のホームゲーム。勝って次の相模原戦に弾みを付けたかったんだけどね。(岐阜の誇り)

●アウェイ鹿兒島戦で敗れてしまい、ホームに戻ってきての宮崎戦。油断する訳じゃ無いけれど、下位チームとの対戦だから、絶対に勝点3が欲しい。そして、宮崎は#11 藤岡浩介の前所属チームで、今の宮崎には#16 石津大介がいて。だから、勝利しか考えていなかった。だけど、どうして上野監督は(ほぼ機能していない)#10 庄司と#42 柏木のダブルボランチを採用したがるんですかね……。 (溜息)。どうしても、2人の役割が競合してしまって、中盤の前目でボールを奪うための運動量が不足するし、縦への速いパスもなかなか出てこない。それでも、試合は岐阜が優勢に運び、相手のゴール前までボールを運ぶんだけど、どうしても最後のパスがずれてしまい、決定的チャンスを作ることができずに前半終了。後半すぐには、#10 庄司が敵陣でボールを奪って GK と 1 vs 1 の決定機、よし決まった！……と思ったらボールは枠を外れて、僕は天を仰ぎましたよ(溜息)。その後にもチャンスは作るけど、決定機とまではなかなかいかない。ただ、試合終盤に FK で #10 庄司の蹴ったボールの軌道と、それに合わせようと突っ込む #9 山内寛史の動きがドンピシャで、よし決まった！……と思ったらサイドネットで、再び僕は天を仰ぎましたよ(溜息)。サッカーに「たれば」が禁物だったのは重々理解した上で、それでも、あの2点を普通に決めてれば、普通に勝ってた試合なんじゃないかなあ……。もっとも、それを普通に勝てていたら、今の順位ではないとも思っているんですが(苦笑)。

ただ、試合後の公式スタッツを見て僕は驚いた。シュート6本！？そして宮崎よりも撃てていなかったの！？もちろん、シュートの“質”も重要だと思うんだけど、ああいう決定機で決めきれないのであれば、もっとシュートの“数”にこだわったプレーをして欲しいです。とりあえず、徹底的な居残りシュート練習をお願いします。(ささたく)

●試合終了後の感想としては「宮崎の選手、スタッフの四方への挨拶だけが心に残る。」ってトコかな？イヤ、素直な気持ちで。ウチの選手も対戦相手に挨拶してるんだけどね。スコアレス・ドローという結果は極めて妥当だと思うな、うん。両チームとも決定的なシーンを決めきれなかった。それに尽きます。ウチとしては、前半の42番、後半の10番。共にループがコントロールしきれなかったのが惜しかったね。ことに後者。シュートならループしか選択肢がなかった42番のケースとは違い、『一対一』だったんで是が非でも決めて欲しかったよ。ヒロフミのシュートは、何でゴールネットが揺れなかったのかわからない……。なんだかなあ。こういうのを『切歯扼腕』って言うんだっけ？サッカーだし、脚じゃないから筋違いな使い方かな？それにしても、最前線のプリンスとチャリーが繋がらない。アノ長野戦は何かの間違いだったのか？ずーっと、いい組合せが見つからない。難儀やねえ(苦笑)。とにかく、コレで今月のホーム戦は未勝利のまま終わるコトが確定。アウェイでの手痛い敗戦の後でも五人超えとなった試合なんだけど。厳しいねえ。それでも、連戦のアウェイで勝ちさえすれば、この引き分けも活きるってもんだ。まずは、次節の相模原戦。なんとしてでも、結果を出してもらいたいな。(ぐん、)

●油断してましたね。ぼくは油断してました。「上野さんはホームでは柏木をスタメンで使うのでは？」と結構本気で思っていました……。『岐大通』に書いたのは、24節・ホーム鳥取戦について。その試合では柏木をサブで起用して3-1と快勝したものの、庄司が退場処分を受けて次節・アウェイ鹿兒島戦が出場停止に。で、鹿兒島戦は柏木がスタメン。でも、庄司が停止明けで戻ってくるこのホーム宮崎戦ではボランチを北&庄司のスタメンに戻して柏木をサブに置くだろうと思ってました。いやまったく、油断してましたわ。

柏木がダメな選手だなんて、まったく思ってません。「彼の存在が活きる局面というのがある」と書きたいのです。試合をリードしての後半。相手チームが同点に追いつこうと攻勢をかけてくる時にボールを収めることが出来るから波状攻撃を受けない。相手の嫌なところにパスを出し、相手の攻勢を落とすことが出来る。しかし、試合の前半では、彼の「収める能力」が岐阜の動きの良さを消してしまうような気がするの。スタメンの中盤を庄司&柏木で組んでいたのを、庄司&北で組むようにしたのが7月のホーム長野戦。でも、この試合は柏木はFW登録でスタメン出場。このホーム長野戦～ホーム宮崎戦の8試合で、FWにしろMFにしろ柏木がスタメンで出ているのは、H:長野(△)、H:愛媛(△)、A:鹿兒島(●)、H:宮崎(△)。一方、スタメンで出ていない(サブまたはベンチ外)のはA:YSCC(●)、A:今治(O)、A:長野(O)、H:鳥取(O)。上にも書いたけどアウェイ鹿兒島戦は庄司が出場停止だからわかるとしても、なんか、相関性があるように見えてしまう。もしかして、上野監督は先日のホーム鳥取戦で快勝したにも関わらず、どなたかから「長良川では柏木をスタメンで使え！」と叱責されたりは、してないですよ？と邪推したくなってしまう。あるいは、「選択肢がいくつかあったらまずベテランを重要視する」傾向があるのかも。上野監督がコーチを勤めてした日本代表チームも、森保(日本代表)監督の初期はその傾向があったもんね。

と、試合開始2時間前のスタメン発表で気分的に萎えてしまい、正直言って萎えたままで試合が終わってしまった。庄司の1対1とか、ヤマヒロのサイドネットとか、入りそうなシュートはあったけど、それでも「あー、負けなくてよかった」という試合でした。相手にいる石津が元気そうでよかったよ。さて、今度のホーム・福島戦はまた柏木はスタメンかな。スタメンだよ。うんうん、そうだよ。(吉田铸造)

【第27節】相模原 1-1 岐阜

●9月の日中開催アウェイ。最近は残暑というか、猛暑が続いているから天候が厳しいかなと思ったら、ホントに厳しかった……。相模原さん、照明施設あるんだから、ちゃんとナイターでやりましょうよ……。ほとんど日陰もなくて、本当にヤバかった……。 (溜息)。

さて、そんな厳しい天候、ピッチ上はもっと過酷だったために、試合は互いに少し様子見をしながら消耗を避ける(というか、試合開始からバテてたかも?)序盤の展開に。ちょっと驚いたのは、相模原の#47 岩上祐三。FKやCKはまあ当然としても、左右のスローインを、ほぼすべて彼がロングスローでやっていた。おいおい、ベテランを酷使しすぎじゃないのか……。と思ったけれど、的確にボールが行くからそういう作戦なんだなあ。んで、その#47 岩上が蹴ったCKで先制点献上。ウチも、こういったセットプレーで得点できれば、もっと楽な試合ができるのになあ……。 (溜息)。このまま前半終了かと思っていた前半AT、左サイドを抉った#7 村田透馬がゴール前に出したボールを、右SBの#14 生地慶充がフリックして同点！いや、前半で追いつけたのはホントよかったのだけど、ここに#14 おいちゃんが来てるのね……。もう3バックでよくない？(苦笑)そして後半、右サイドを突破してクロス、逆サイドに走り込んでたフリーの#6 北龍磨が押し込め……。めないの！？なんで！？(呆然)その直後のGKとの1

vs 1 も #11 藤岡浩介が決められないし……なんか、ウチの選手たちに決定的場面を外す呪いが掛かってないですか（溜息）。そうやって決定機を外してると、相手に決定機が訪れるのはサッカーで良くあることで、PKを与えてしまう。だけど、ここでGK # 1 茂木秀のPKストップ！よし、これで流れは再びウチに来たはずだし、相手は縦に速い展開が苦手なみたいだから、そういう選手交代……にはならなかったですね（苦笑）。このまま1-1で試合終了。2試合連続で下位チームに引き分けてしまうという、非常に肉体的にも精神的にも苦しい試合でした。（ささたく）

●アウェイ相模原戦は1-1のドロー。正直、よくぞ、勝ち点1をゲットしたね！という試合。いや、若干の皮肉は込めてます（笑）でも、モギシューがいなかったら負けてたね。MOMは、もちろん、モギシュー。まあ、先制された場面は、え？ちょっと！どうしたんだよ～、って感じだったけど。誰かに当たってコース変わったとかはなかったよね？

試合経過的には、鹿児島のこともあるんで、0-1のままなら逆転も難しくないだろう……と思ってたところにヌルッという感じの同点弾。なんというか、エロい！トーマのキレたドリブルからオイちゃんのテクニカルなシュートが決まる。ところで、オイちゃん。キミ、なんで、そんなトコにおるん？ファアに詰めてるんならわかるんだけど。思わず、笑ってしまった。この一発で流れを持ってきたかに見えたんだけどなあ。後半開始早々の2本。龍磨とプリンス。どっちか、決まったらなあ～、いや、決めといてくれよー。あんなコトしてたら、そりゃ、PKを献上するぐらいのながれになっちゃうよね。審判によっては『不自然ではない手の位置』と判断してくれるかもしれないけどさ。判定には異議はない。それでも、ボくらにはモギシューがいる。もう一度叫ぼう。「モギシュー！」と。限定ユニ買って大正解だ。

しかし、なあ。なんで、14時キックオフ？なの？相模原サン。千三百年の古都と違って、基準を満たす照明設備あるんでしょ？まあ、勝って、文句を言いたかったな。

さて、次節もアウェイ。庄司の休暇。厳しいと思うけど、ココ2試合のドローを活かす勝ち点3が欲しい。是が非でも欲しい。順位が近いってだけじゃなく、相手が相手だから尚更ね。（ぐん、）

●まず、なんでこの時期に午後2時開始？きつと、翌日の朝からイベントが入ってて前夜（岐阜戦の後）から準備があるからだろう……と好意的に考えていたら、翌日の予定は午後3時からノジマステラのリーグ杯だけ。なんだいなんだい、もしかして単純に照明費をケチっただけ、ですかい？自軍の選手だって大変でしょうに……。

で、試合。もう何度めなんだか、今季だけでも何度めなんだか見当もつかない、「勝たないといけない試合」で、「負けなくてよかった」。なんだかねえ。

アウェー戦ですから柏木はサブ（結構、根に持ってます）。でも、リョウ君がいない。サブにもいない。以前の『岐大通』にも書いたけど、今季のFC岐阜はサッカーを属人化している。「誰それがいるから、このサッカー」。それはいいの。でも、属人化したサッカーで結果が出ているのはこのパターンというのは決まっている。GKモギシュー、CBはリユー+タクミor元ちゃん、SBはウガ+オイちゃん、中央MFは北+庄司、ウイングはトーマ+リョウくん、FWはチャーリー+コースケ。残念だけど、このパーツが1つでも変わるとそこは『下位互換』になってしまう……というのが現状だ（そんな中、選手交代で「変える」ことが出来る唯一人の選手が柏木）。なので、リョウ君がいない段階で「岐阜のいいサッカー」が出来ないことはわかっていた。で、結局はモギシューのPK阻止もあってドロー。勝つチャンスはあったけれどね、チャンスがあればそれでいいってモノでもないの。

今季の岐阜の最大の欠点、「スタメン11人とサブメンバーの戦力差があり過ぎる」。選手に失礼だ!!と怒る方もいるだろうけど、実際にこうも結果が出ないとそうとしか思えないのだ

から仕方がない。そんな中で選手をやりくりしながらJ3中位を維持できているのだから、上野監督はJ監督1年目としてはもしかしたら及第なのかもしれない。（吉田鑄造）

【第28節】松本0-0岐阜

●勝点39で並んで迎える、アウェイ松本戦。お互いに負けられない隣県対決。試合は序盤から松本が攻勢に出て、シュートがポストに弾かれるなど、ヒヤリとさせられる場面が続いたけれど、徐々に岐阜もペースを取り戻して攻撃できるよう。そして、#45ンドカの1vs1は弾かれ、#48田口裕也のシュートは枠を逸れる。その直後にも松本のPAを横断するボールが入ったんだけど、少しずつコースがずれてるんだよなあ……（溜息）。後半の#6北龍磨のミドルも浮いちゃうし。ここ数試合でシュートがごとく枠に飛ばないことを考えると、シュート練習、特にゴール前で相手選手がいる状況でもしっかりと撃ちきる練習をやった方が良いように思う。まあ、今年はそこまで結果を求めるのではなくて、チーム戦術を浸透させることを優先させるシーズンだとは分かっているんですけどね。でも、こんな良い順位で、こんな大混戦で、ワンチャンあるかもと思うと、どうしても欲が出てしまうのよねえ（苦笑）。それに、今のチームにいる選手たちにとっては、ここで昇格できるか否かで、おそらく今後のサッカー人生が変わってしまう。だから、僕は昇格のチャンスを諦めたくはないのです……と、閑話休題。後半は互いにボールを奪い合う展開で、そこまで決定機は生まれず、そのままスコアレスドロー。直近2試合の下位チームとの対戦での結果とは違い、価値ある引き分けだとは理解しているものの、やはり勝ちたかった……2試合連続で引き分けてしまっていたので、特に強く、そう思える試合だった。（ささたく）

●昼間のアウェイ・ゲーム。長野県とはいえ、選手はもちろん、サポも観客も大変だったのでは？それにしても、点が取れなかったね。白いセカンド・ユニ着たクラブもホーム・チームも。でも、客観的に見たら、白い方はよく引き分けましたね、かな。あっちの29番。なかなか、厄介な選手だった。

北くんは、そろそろ、あーいうのを決めてみてはいかがかな？ユーヤも枠には入れよう。チャーリーも一対一は決めてくれないと。ただ、向こうはポストに当たるヤツがあったし、その辺はイーブンか。全体的には、向こうのが優勢に見えた。ウチはもうちょっと、マイボールを大切にしよう。今節が終わって、まだ、8位だっけ？それでも、昇格圏までは勝ち点5の差。9月は未勝利になっちゃったけど、来月はその分も込みで勝ち点を積み上げてもらいたいな。（ぐん、）

2024 クラブライセンスについて

●FC岐阜は来季（2024年）のJ1クラブライセンスを取得しました。経営面の課題はなんとかあったのかな。まずは、よかった。今後もよろしくです。

あと、JFLに所属の「ラインメール青森（現在JFL3位）」「クリアソン新宿（4位）」「ヴィアティン三重（5位）」「ヴェルスパ大分（9位）」にJ3クラブライセンスが降りました（「レイラック滋賀」「高知ユナイテッド」は継続審議）。これにより、上記のJ3ライセンス持ちが2位以内に入り、観客動員等の努力目標が認められるとJ3下位との入替が発生する可能性が出てきました。JFLの勝ち点的には、9位のヴェルスパまでは十分に昇格圏に届く可能性があります。

現在、JFLはHondaが首位独走なので、J3最下位の自動降格はなさそうな気配（同時に、J3のドベ2は自動残留）。もし、入替が発生するなら、J3最下位とJFL2位の入替戦ということになります。（吉田鑄造）